

中部物流改善事例発表会 2024 <参加申込規程>

参加料(会場参加・オンライン参加ともに同価格です。) (消費税込)

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

会員 7,700円/1名
会員外 16,500円/1名

◆有資格者優待 (フォローアッププログラム)
当協会では、有資格者のためのフォローアッププログラムを実施しております。本プログラムは、当協会主催の講座で習得した知識をより深い実践の場で活用できる能力を身につけたいという、有資格者からの強い希望を受けて、当協会認定の資格※をお持ちの方に、当協会主催のプログラムを、優待料金にてご提供するものです。実践力の強化、最新の情報収集の場として、ぜひご利用ください。
◇ フォローアッププログラム参加料: 5,500円/1名 (消費税込)
フォローアッププログラムにお申し込み後、参加者が資格をお持ちでない方に変更になった場合は、参加料の差額を請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

有資格者優待の該当保有資格をご確認ください。
※ロジスティクス経営士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士、物流技術管理士、物流現場改善士

参加定員

●会場参加: 100名
●オンライン参加: 100名
(定員になり次第、締め切らせていただきます)

参加申込方法

当協会のホームページよりお申し込みください。
<https://www1.logistics.or.jp/network/LA33.html>

<https://www1.logistics.or.jp/>
または「JILS」で検索してください。

トップ → 事業案内 → 改善事例大会・発表会

※申込締切日: 2024年2月19日(月)

参加料支払い方法

- WEB請求書で請求いたします。
- WEB請求書は原則としてお申込み手続きご担当のE-mail宛に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までにお願いいたします。
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

【キャンセル規定】
開催7日前～前々日(開催日含まず起算) …… 参加料(消費税を除く)の30%
開催前日および当日 …… 参加料(原則として消費税を除く)の全額
※参加申込をキャンセルする場合は事前に問い合わせ先にお申し出ください。

ご注意

- お申し込み時に会場参加もしくはオンライン参加をご選択ください。
- 参加者全員にPDFテキストをメール等にて事前にお送りいたします。
※発表により、テキストデータ送付が不可となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 会場参加者につきましては、開催日当日、会場にて冊子テキストをお渡しいたします。オンライン参加者には冊子テキストの配布はございません。なお、テキストのみの販売はいたしておりません。
- スライド内容を撮影する目的での写真撮影および発表内容の録音はご遠慮ください。

参加申込・問い合わせ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 中部支部
〒460-0008
名古屋市中区栄1-22-16 ミナミ栄ビル407号
TEL:052-228-2225 FAX:03-3436-3190
e-mail: chubu@logistics.or.jp



オンライン参加について

発表会会場での発表をオンラインライブ配信 (Zoom利用) いたします。日本ロジスティクスシステム協会 (以下「主催者」という) が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご承いただきたいこと」と、以下の事項に同意のうえお申し込みください。
<https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/onLinekensyu.pdf>

- Zoomクライアントが使用できない場合はご参加いただけません。開催前に接続確認のご案内をいたします。
- 本発表会の参加者は申込時に登録した参加者に限定し、1人1台のデバイスでご参加いただけます。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本発表会を期間限定で配信します。
- 参加者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本発表会の録画、録音、撮影は禁止します。
- 参加者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の聴講を中止させることがあります。

会場のご案内

名古屋栄ビルディング 大会議室
名古屋市中区武平町5-1
名古屋栄ビルディング12階
<アクセス>
【市営地下鉄東山線・名城線】栄駅
【名鉄瀬戸線】栄町駅
5番出口より徒歩約1分
<電話>
052-961-1507



個人情報の取り扱いについて
公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催しに関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

物流改善で物流危機を乗り越える！

中部物流改善事例発表会2024

4年ぶりの開催です！

開催のご案内

開催日 2024年2月28日(水) 13:30~16:35

参加形式 会場参加・オンライン参加(Zoom)選択形式

会場 名古屋栄ビルディング 12階大会議室
愛知県名古屋市東区武平町

参加定員 会場 / オンライン:各100名
(定員になり次第締め切らせていただきます)

◆中部物流改善事例発表会とは

- 物流現場の様々な問題を改善するためのノウハウやヒントを共有する場
- 物流現場改善に関する取り組み事例を相互に発表する情報交流の場

◆今回の発表事例のテーマ


問題解決技法を駆使した作業生産性の向上、梱包作業の内製化によるノウハウ蓄積、作業・現場の見える化等による品質向上と作業標準手順の工夫、ボトルネック工程の集中的改善による効率アップ、AIやアプリを活用した業務負荷低減 等

1 (株)ゲオ	4 (株)富士ロジテックホールディングス
2 サッポログループ物流(株)	5 ホンダロジコム(株)
3 日本トランスシティ(株)	

【特別講演】
2023年度優秀物流改善賞受賞事例 NX・NPロジスティクス(株)

主催:公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 中部支部
一般社団法人日本物流資格士会 中日本委員会

プログラム

開会挨拶 13:30-13:35	蟹井 修 中部物流改善事例発表会 実行委員会 委員長 名港海運(株) 専務執行役員
【発表①】 13:35-13:55	<p>物流改善研究会を通じた現場作業改善</p> <p>(株)ゲオ 物流部 物流統括課 スーパーバイザー 及川 徒宏 氏</p> <p>要因解析から真因の追究を行ない、JILS主催の「物流改善研究会」での提案をふまえ、現場作業改善に取り組んだ結果、1時間あたりの作業生産性の上昇につながった。本研究会終了後も継続して改善活動に取り組み、作業生産性は順調に向上している。また、作業者のコミュニケーション強化で様々な意見が出てきたことで現場の活性化にもつながった。</p>
【発表②】 13:55-14:15	<p>転送用機械梱包作業の内製化</p> <p>サッポログループ物流(株) 東北支社 物流業務部 部長補佐 神谷 武文 氏</p> <p>他工場へ転送する製造用機械類や機械部品等の梱包作業を外部委託していたが、2023年より自社の子会社で内製化を目指し、グループ企業とパートナーシップを組み、リソースを活用し、人材育成を含め各種施策を展開した。梱包作業の専門家を持たない弊社であったが、梱包作業を外部委託から自社の子会社での内製化に成功した。</p>
【発表③】 14:15-14:35	<p>V.SOP (Visual Standard Operating Procedures)の導入による物流品質向上と業務波動に負けない現場体制の構築</p> <p>日本トランスシティ(株) 中部支社 貨物流通部 北営業所 萩 大地 氏</p> <p>乗用車・特殊車両の夏冬タイヤなど常時、400品番・20万本以上を保管。通常期と閑散期の取扱量の波動が大きい中、効率的で高品質な運営を行うため、作業工程・レイアウトの見直し、作業・現場の見える化を推進。誤出荷等の重大トラブルがゼロとなり、物流品質が向上。他の職場からの応援も受け入れやすい環境となり、業務波動を乗り切れる体制を構築できた。</p>
14:35-15:05	質疑応答/講評および記念品贈呈/休憩
【発表④】 15:05-15:25	<p>介護用マットレスの洗浄生産性向上について</p> <p>(株)富士ロジテック ホールディングス 西日本ブロック 大阪事業部 黒川 雅代 氏</p> <p>介護用マットレス洗浄作業を受注したが、1日当たりの出来高が当初予定より大幅に少なかった。この生産性を向上しないことには利益が望めないため、作業の中でも、特に時間のかかっている乾燥・梱包作業に的を絞り、各種改善を実施することで、生産性向上を実現。出来高を1.7倍まで上げることができた。</p>
【発表⑤】 15:25-15:45	<p>AIを活用した勤務シフト作成システムの導入</p> <p>ホンダロジコム(株) グローバルカスタマーサービス部 梅木 伸 氏</p> <p>昨今の多様な働き方（フルタイム以外、曜日休み固定なし、など）の増加により、様々な勤務条件を複雑に組み合わせる”パズル”の様な勤務シフト作成業務に時間を要していた。そこで、AIやアプリを活用し、シフト作成を自動化。業務負荷削減を実現した。また、日々の作業量をAIで予測することに挑戦。今後は精度向上を図り、要員管理に貢献できるよう、継続的な活動を進めている。</p>
15:45-16:10	質疑応答/講評および記念品贈呈/休憩
【特別講演】 16:10-16:30	<p>【2023年度優秀物流改善賞受賞事例】 「物流 I E を活用したサステナブルなオペレーションの実現 ～ “働きたくなる” 受注センターに向けた全員活動～」 NX・NPロジスティクス(株) (物流現場改善優良認定: ブロンズ) 西日本支店 西日本受注・DBセンター 受注業務課 友政 知子 氏 / 徳久 里香 氏</p> 
閉会挨拶 16:30-16:35	中部物流改善事例発表会 実行委員会

※諸事情によりプログラムが変更となる場合があります。ご了承ください。

中部物流改善事例発表会 実行委員会 委員

中部物流改善事例発表会は、実行委員会にて企画、運営を行っています。

(2023年12月15日現在・敬称略・順不同)

	氏名	所属・役職
委員長	蟹井 修	名港海運(株) 専務執行役員
副委員長	中野 昭男	のぞみ経営研究所 代表
委員	平野 光博	アトラスカーゴサービス(株) 顧問
委員	中島 健輔	コクヨサプライロジスティクス(株) 物流本部 物流1部 中部IDC
委員	金成 智久	佐川グローバルロジスティクス(株) 中部エリアマネジャー
委員	伊藤 裕明	(株)ダイフク イントラロジスティクス営業部 中部支店 支店長
委員	古橋 正得	(株)豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー 物流エンジニアリング部 企画室
委員	棚橋 昭徳	日本トランスシティ(株) 執行役員 経営企画部長
委員	井上 理	(株)富士ロジテックホールディングス 執行役員
委員	峰澤 彰宏	(株)MINEZAWA 代表取締役社長
委員	川北 俊信	名港海運(株) 業務部 部長

～物流現場改善に取り組む皆さんを応援します！～ 物流現場改善優良認定制度のご案内

日本ロジスティクスシステム協会(略称:JILS)では「物流現場改善優良認定」制度を2022年度よりスタートしました。本制度は物流現場改善に積極的に取り組まれている皆様の活動を応援すべく、物流現場改善の先進企業として認定させていただくことで、広く産業界に周知させていただくことをねらいとしております。

【物流現場改善優良認定 ロゴマーク】



※提供したロゴマークのデータは名刺や会社案内等各種媒体への掲載など自由にご活用いただけます。
※認定は年度ごとに実施しており、ロゴマーク自体に認定年度(西暦)が記載されます。
なお、認定基準等につきましては当協会HPをご覧ください。
<https://www1.logistics.or.jp/propulsion/kaizen.html>



物流現場改善推進ポータルサイトをご活用ください

JILSの物流現場改善の活動については、以下のURLをご参照ください

<https://www1.logistics.or.jp/subdivision/>

 <p>物流現場改善推進のための手引書 物流の現場力強化のためのヒントえ 通路を掲載した物流現場担当者の方 に活用いただくための現場改善の手 引書です。</p>	 <p>物流現場改善事例集 2007年以降に全日本物流改善事例大 会にて発表された優秀事例をまとめ た事例集です。200を超える事例か ら課題業種別に検索できます。</p>	 <p>コラム「物流改善のすすめ」 物流現場改善を集めるきっかけとし て改善の考え方や手法事例等お伝え するコラム物流現場改善のすすめを 掲載しています</p>
 <p>物流現場改善推進委員会 現場改善の推進や高度化のあり方な ど、物流現場改善を産業界に普及す るための取り組みについて検討して います。</p>	 <p>物流現場改善・チェックリスト 物流改善リーダーに必要な能力を把 握する「キャリアアップ診断」等、 物流現場力向上に取り組むうえで参 考となる各種診断を行っています。</p>	 <p>物流現場改善活動の実態調査 物流現場改善推進活動に取り組むた め、各企業の物流現場改善の状況を 把握すべく実態調査を実施していま す。</p>